



平成 28 年 4 月 27 日

【照会先】

大阪労働局 労働基準部 健康課

(電 話) 06(6949)6500

報道関係者 各位

“体調不良を報告し熱中症予防”

～ 6 月から 9 月まで職場における熱中症予防対策を実施～

大阪労働局（局長 中沖 剛）は、今年度、新たに作業者本人への自覚を促すための啓発用ポスターを作成した。

2 年連続で、平成 27 年も 5 月から熱中症が発生したこと。また、熱中症の予防には、計画的に熱への順化期間（暑さに慣れ当該環境に適応すること）設けることが重要であり、早めの取組が求められることから、本年は熱中症予防対策セミナーの開催を例年より前倒しして 5 月に集中して開催する。

過去の熱中症の発生状況等は、別紙のとおり

1 平成 28 年度の熱中症予防の取組について

平成 28 年度の熱中症予防対策として、次の取組等を実施する。

- ・ 熱中症予防対策セミナーの開催
- ・ ホームページ、ポスター等による周知啓発
- ・ 事業場に対する熱中症予防の指導

大阪労働局は、平成 28 年度も 6 月から 9 月までを熱中症予防の強調期間と定め、次の取組を行うこととしている。

- (1) 大阪労働局長 安全衛生パトロール（6 月 1 日）
- (2) 熱中症予防セミナーの開催
【開催日：5 月 12 日、5 月 16 日、5 月 31 日、6 月 3 日】
- (3) 建設業、運送業及び製造業など熱中症の発生が懸念される個別事業場に対する熱中症予防の指導（取組状況の調査を含む。）また、建設工事現場の指導時には、警備員の熱中症予防についても指導
- (4) 熱中症予防に関する「安全の見える化」の取組促進

ゼロ災 大阪

ん～体調悪いなあ (-.-) ても、仕事が遅れるし…

なにい! (>_<) 我慢せずに、すぐ上司に報告するんじゃ!

熱中症を防ごう!

熱中症は、誰でも発症する可能性があります。「熱中症は30度」と過信しないことが大切です。

- 作業服は通気性とチェックしましょう。
- 頭巾は必ず着用し、こまめに水分・塩分をとりましょう。
- 涼しい場所へ移動して休憩しましょう。
- 熱中症の兆候を感じたら、速やかに対応しましょう。
- 熱中症の予防対策を徹底しましょう。

★少しでも体調不良を感じたら、我慢せず早く申し出て医療機関で治療を受ける必要があります。そのためには、「体調が悪いので」と上司に伝言や、職場・作業現場の緊急連絡をお願いします。

トップ自らの安全衛生に対する方針を、協力会社やガードマンを問わずすべての作業者に宣言しましょう。

現場代理人
工場長
安全宣言

熱中症かな?と思ったら、すぐに私に声をかけてください。速やかに対応します。

現場代理人
工場長
(自署で署名しましょう)

大阪労働局・労働基準監督署 <http://osaka-roudoukyoku.jp/> 28.04

《熱中症予防》啓発用ポスター

《セミナー案内用リーフレット》

平成28年度
熱中症予防対策セミナー

大阪の夏は高温多湿となることから、労働者の体温調節が難しく重篤な労働災害につながりやすい時期です。これから暑くなっていく時期に向け、予防対策に取り組んでいただくためのセミナーを開催します。皆様の参加をお待ちしています。

①平成28年 5月12日(木) 14:00～16:30
②平成28年 5月16日(月) 14:00～16:30
③平成28年 5月31日(火) 14:00～16:30
④平成28年 6月3日(金) 14:00～16:30

受講料：無料
定員：各回80名 先着順で受付し、定員に達し次第受付終了
会場：大阪中央労働総合庁舎6階（大阪市中央区森ノ宮中央1丁目15-10）

※駐車場はございません。公共の交通機関をご利用ください。
※「熱中症予防対策セミナー」は同じ内容で4回開催いたします。同じ内容ですので都合のよい日種でお申込みください。
※詳細は大阪産業保健総合支援センターHP(<http://osakas.johas.go.jp/>)をご覧ください。

受講申込
FAX 06-6944-1192

※研修受講以外の目的でのご参加はお断りいたします。
※お申込みの際にいただいた個人情報は、本事業の実施以外の目的では使用しません。

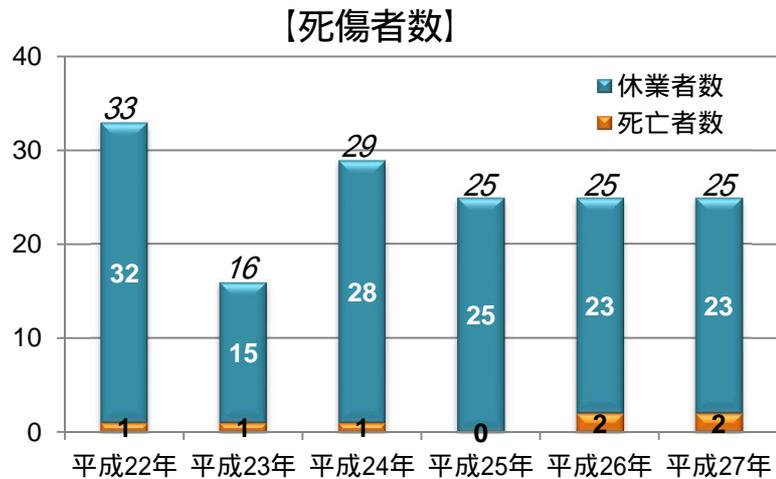
事業場名			
TEL			FAX
受講者①	フリガナ	希望日	月 日() 役職 産業医・産業看護 衛生管理者・事業主 その他()
受講者②	フリガナ	希望日	月 日() 役職 産業医・産業看護 衛生管理者・事業主 その他()
受講者③	フリガナ	希望日	月 日() 役職 産業医・産業看護 衛生管理者・事業主 その他()

主催：大阪労働局 共催：独立行政法人労働者健康与安全機構大阪産業保健総合支援センター

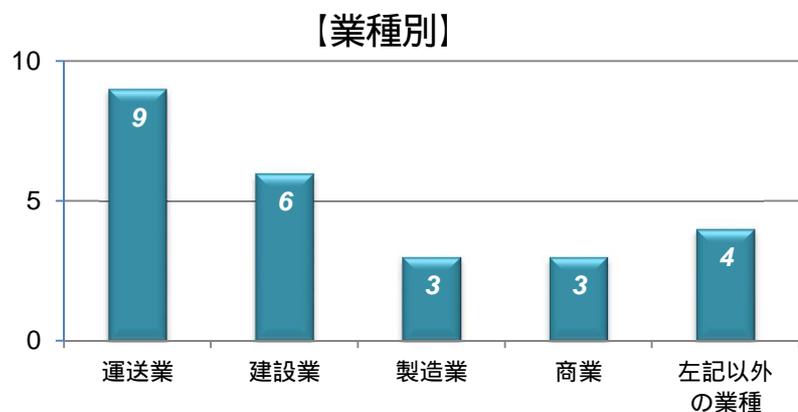
平成 27 年の府内の事業場における熱中症の発生状況

((資料 1、2 参照))

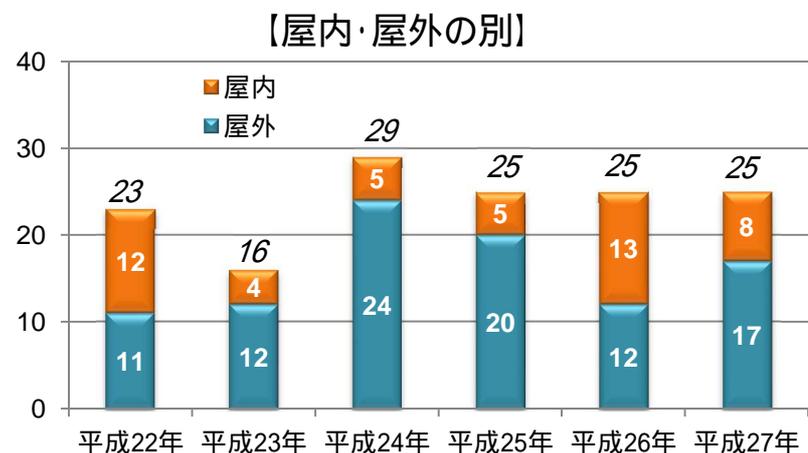
◇ 熱中症による休業 4 日以上の死傷者は 25 人で、死亡者は 2 人と前年と同数であった。



◇ 業種別では、運送業 9 人、建設業 6 人と屋外作業の多い業種が目立つ。

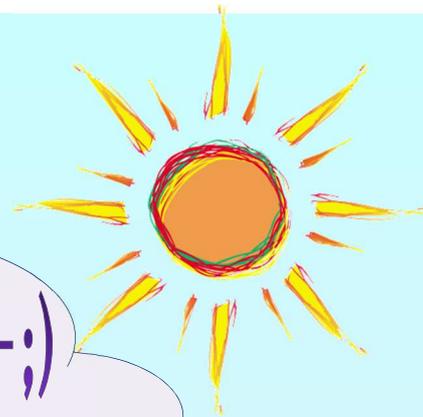


◇ 平成 27 年は、屋外作業が 17 人と 7 割弱を占めた。



平成 27 年の全国の熱中症による死亡者は、速報値で 32 人と前年の 12 人から大幅な増加となり、過去 10 年間で猛暑の平成 22 年に次ぐ被災者数となった。

一方、府下では猛暑日は昨年より多かったが、真夏日及び熱帯夜とも少なかったにも関わらず、死傷者は前年と同数であった。気象庁発表の「この夏の天候の見通し(6月～8月)」では、平均気温が西日本では高いと予報されており、屋内・屋外作業問わず熱中症予防対策を十分講じることが重要である。



ん～体調悪いなあ (-.-;)

でも、仕事が遅れるし…

なにい! (>_<)

我慢せずに、

すぐ上司に報告するんじゃ!



熱中症を防ごう!

熱中症は、誰でも発症する可能性があります。“**自分は大丈夫**”と過信しないことが大切です。

- 作業前には健康状況をチェックしましょう。
- 直射日光は避け、こまめに水分・塩分をとりましょう。
- 冷たいおしぼりなどで、体温を下げましょう。
- 休憩は風通しのよい涼しい場所でとりましょう。
- 睡眠を十分にとり体調管理に気をつけましょう。

★少しでも体調不良を感じたときは、**我慢せず**早めに申し出て医療機関で診察を受ける必要があります。そのためには、「体調が悪いです」と上司に伝えやすい職場・現場環境の実現を図りましょう。

トップ自らの安全衛生に対する方針を、協力会社やガードマンを含むすべての作業者に宣言しましょう。



現場 代理人
工場 場 長
店 長 『安全宣言』

熱中症かな?と思ったら、すぐに私に声をかけてください。速やかに対応します。

現場 代理人
工場 場 長
店 長
(自筆で署名しましょう)

平成28年度

熱中症予防対策セミナー

大阪の夏は高温多湿となることから、労働者の体温調節が難しく重篤な労働災害につながりやすい時期です。これから暑くなっていく時期に向け、予防対策に取り組んでいただくためのセミナーを開催します。皆様の参加をお待ちしています。

- ①平成28年 5月12日 (木) 14:00~16:30
- ②平成28年 5月16日 (月) 14:00~16:30
- ③平成28年 5月31日 (火) 14:00~16:30
- ④平成28年 6月 3日 (金) 14:00~16:30

受講料: 無料

定員: 各回80名 先着順で受付し、定員に達し次第受付終了

会場: 大阪中央労働総合庁舎6階 (大阪市中央区森ノ宮中央1丁目15-10)

※駐車場はございません。公共の交通機関をご利用ください。

※「熱中症予防対策セミナー」は同じ内容で4回開催いたします。同じ内容ですので都合のよい日程でお申込みください。

※詳細は大阪産業保健総合支援センターHP(<http://osakas.johas.go.jp/>)をご覧ください。

受講申込

FAX 06-6944-1192

※研修受講以外の目的でのご参加はお断りいたします。

※お申込みの際にいただいた個人情報は、本事業の実施以外の目的では使用しません。

事業場名			
TEL		FAX	
受講者①	フリガナ	希望日 月 日()	役職 産業医・産業看護職 衛生管理者・事業主 その他[]
受講者①	フリガナ	希望日 月 日()	役職 産業医・産業看護職 衛生管理者・事業主 その他[]
受講者①	フリガナ	希望日 月 日()	役職 産業医・産業看護職 衛生管理者・事業主 その他[]

主催:大阪労働局 共催:独立行政法人労働者健康安全機構大阪産業保健総合支援センター

大阪府下の熱中症による労働災害の発生状況について

表1 熱中症による死傷災害(休業4日以上)の発生状況 (人)

	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
被災者数	20(2)	25(1)	15(0)	8(1)	33(1)	16(1)	29(1)	25(0)	25(2)	25(2)

(注) ()内は死亡者数で内数

表2 月別発生状況(平成22~27年) (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成22年				7	24(1)	2	
平成23年			1	4	11(1)		
平成24年			1	11(1)	14	3	
平成25年	1		1	6	13	3	1
平成26年		1		17	6(1)	1(1)	
平成27年		1		11	13(2)		

(注) ()内は死亡者数で内数

表3 業種別発生状況(平成22~27年) (人)

	22年	23年	24年	25年	26年	27年
製造業	11(10)	3(2)	3(1)	1(1)	3(3)	3(3)
建設業	11	4(1)	8	9(1)	6(1)	6(1)
運送業	7(2)	3(1)	4	4(1)	9(2)	9(1)
貨物取扱業	0	0	0	1	0	0
商業	0	0	3(1)	1(1)	2(2)	3(1)
上記以外の業種	4	6	11(3)	9(1)	5(5)	4(2)
内ゴルフ場	0	0	0	0	0	1
内ビルメンテナンス業	1	2	5(1)	1	1(1)	0
内警備業	0	2	2	3(1)	0	1
合計	33	16	29	25	25	25
(屋内作業の災害件数)	(12)	(4)	(5)	(5)	(13)	(8)

(注) ()内は屋内における死傷者数で内数

表4 年代別災害発生状況 (人)

	22年	23年	24年	25年	26年	27年
10～19歳		1		3	1	2
20～29歳	2	2	4	4	3	
30～39歳	9	3	4	2	2	2
40～49歳	11	3	8	3	7	10
50～59歳	10	4	7	7	7	6
60歳～	1	3	6	6	5	5

表5 死亡災害発生状況 (平成18年以降)

(人)

	18年	19年	21年	22年	23年	24年	26年	27年
製造業							1	1
建設業	2	1		1	1			1
運送業			1					
上記以外						1	1	
合計	2	1	1	1	1	1	2	2

(注) 平成20・25年は死亡者なし

(参考1) 平成20年～平成27年における猛暑日等の日数

	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
猛暑日(最高気温35以上)	13	3	31	7	12	23	5	11
真夏日(最高気温30以上)	71	73	82	76	75	88	65	58
熱帯夜(最低気温25以上)	42	27	55	51	43	47	29	25

(参考2) 熱中症にかかる事業場調査等実施状況 (平成23年～27年)

	23年	24年	25年	26年	27年
調査実施事業場数	705	816	832	890	773
対策が不十分として指導した事業場数(割合)	167 (23.7%)	190 (23.3%)	212 (25.5%)	190 (21.3%)	220 (28.5%)

(参考3) 全国の熱中症による死亡災害の発生状況 (人)

	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
死亡者数	23	17	18	17	8	47	18	21	30	12	32

平成27年 大阪府内で発生した熱中症の発生事例(死亡及び休業災害)
(平成28年3月末日現在 労働者死傷病報告による)

番号	業種	災害発生日	災害発生時間	休業見込期間	性別	発生状況	WBGT値 (災害発生時間帯) (大阪市内)	最高気温 (大阪市内)	屋内外
1	鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業	5月29日	17時00分	3ヶ月	男性	新築工事現場において単管等の仮設材をトラックで搬出するため運搬作業をしていたところ、急に座り込み意識がもうろうとしてきたため病院で受診。	22.9	31.2	屋外
2	その他の商業	7月10日	14時00分	15日	男性	リサイクル品の回収作業中意識不明で倒れ、救急車で搬送された。	30.5	32.8	屋外
3	その他の建設業	7月10日	15時40分	4日	男性	作業場所にたどり着いたときに足がつかない状態になったので、日陰に移動して回復を待っていたが、悪化してきたので救急車で搬送された。	29.4	32.8	屋外
4	一般貨物自動車運送業	7月11日	18時30分	1週	男性	配送業務後に営業所で休憩中、喫煙室内でけいれん等を起こし始めたので救急車で搬送された。	25.5	32.2	屋内
5	一般貨物自動車運送業	7月16日	15時00分	2週	男性	9時から14時まで配送業務を行い、会社に帰社した。配送途中から気分が悪くなり、帰社後も横になっていたが回復しなかったので受診する。	26.7	29.7	屋外
6	その他の小売業	7月16日	16時00分	1週	女性	店舗外の売り場で作業中、体調不良となり休憩を取っていたがめまいが直らないため病院で受診する。	25.8	29.7	屋外
7	鉄道・軌道業	7月21日	15時30分	5日	男性	午前10時前から竹の伐採作業を昼休憩後も続けていたところ気分が悪くなり休憩していた。少し回復したので帰宅、しかし再度気分が悪くなったので家族に病院に送ってもらった。	28.1	32.5	屋外
8	その他の土木工事業	7月25日	9時30分	4日	男性	建築中の建物の内部でメッシュ筋を切断と敷並への作業中に気分が悪くなり休憩していたが全身がこわばり始めたため救急車で搬送された。	26.4	32.4	屋内
9	耐火物製造業	7月30日	14時30分	1ヶ月	男性	午後から乾燥研磨屑をバクカンからフレコンに入れる作業を開始した。午後2時半頃他の作業員が倒れている被災者を発見、意識がなかったので救急車で搬送された。	28.4	33.7	屋内
10	その他の建設業	7月30日	16時00分	57日	男性	日陰のない所で配管作業を行っていたところ、熱中症の症状が発生した。	29.9	33.7	屋外
11	ゴルフ場	7月31日	9時20分	1週	男性	ゴルフコースのグリーンを手入れした後、刈込機を洗浄するための準備をしていたときに発症した。	29.1	36.2	屋外
12	その他の廃棄物処理業	7月31日	11時45分	1週	男性	産業廃棄物をしゃがみ込んで選別中に声をかけたが、うずくまったままで意識がない様子であったので、救急車で搬送された。	30.5	36.2	屋内
13	その他の小売業	8月1日	9時00分	6日	男性	厨房での業務が一段落したので出ようとしたところ意識を失い倒れた。	29.6	37.5	屋内
14	一般貨物自動車運送業	8月1日	18時30分	3週	男性	作業終了後に会社で休憩していたが気分が悪くなり、救急車で搬送された。	27.5	37.5	屋外
15	クリーニング業	8月2日	15時30分	14日	男性	2階の作業場で仕分作業中、15時から15分間休憩を取り作業開始したが倒れ込んだので救急車で搬送された。	31.1	36.4	屋内
16	鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業	8月5日	16時20分	死亡	男性	解体中の鉄骨建屋の屋根のない4階で、清掃や片付けを行っていたところ、倒れ込み救急車で搬送された。	31.5	36.7	屋外
17	警備業	8月5日	19時00分	1ヶ月	男性	17時に警備業務を終えて帰宅途中に意識朦朧となり倒れ、救急車で搬送された。	27.6	36.7	屋外
18	一般飲食店	8月5日	19時00分	4日	男性	調理場で作業開始から2時間後に気分が悪くなり顔面蒼白になった。	27.6	36.7	屋内
19	プラスチック製品製造業	8月5日	23時15分	死亡	男性	樹脂のスクラップを溶融しベレットを製造している工場内で、意識不明の状態で倒れているところを発見され、救急車で搬送された。	26.4	36.7	屋内
20	一般貨物自動車運送業	8月7日	8時00分	8日	男性	関東から運転してきて支店に到着後、不調を訴えたため病院につれて行き熱中症と診断された。	27.8	36.4	屋外
21	その他の建設業	8月7日	15時30分	1ヶ月	男性	屋根瓦の水切り作業中に地面にうずくまっているのを発見され、救急車で搬送された。	30.9	36.4	屋外
22	一般貨物自動車運送業	8月8日	15時00分	7日	男性	荷物を運搬中にめまいと吐き気に襲われたが、作業を続け修了後に病院で診察を受けた。	31.6	38	屋外
23	一般貨物自動車運送業	8月10日	10時30分	1ヶ月	男性	車両のクーラーを修理してもらい荷物の積み込み場所に向かったところ途中で気分が悪くなり飲料水を購入するため立ち寄ったコンビニで店員に助けられ救急車で搬送された。	28.8	36.3	屋外
24	一般貨物自動車運送業	8月13日	15時00分	7日	男性	積み込みの順番になっても現れなかったので、他の乗務員が探したところ言動に異常が見られ、多量の発汗もみられたため病院に搬送された。	29.4	32.3	屋外
25	一般貨物自動車運送業	8月17日	15時00分	4日	男性	被災当日、積み付け作業の指導に赴いた先で指導終了後、屋外ベンチ(日陰)で休憩していた。手足がしびれる自覚症状があったので、近くの事務所内で床に横になり首の後ろなどを冷やしていたが、30分後くらいから身体の硬直と嘔吐をしたため、救急車で搬送された。	28.1	31.6	屋外